

第38回比較文明学会大会・プログラム【200827 現在】

大会一日目		2020年11月21日(土)
9:30～		受付
10:00～12:00	第4セミナー室	<p>個人研究発表 A (報告 25 分、質疑 5 分) 司会：宮嶋俊一 (北海道大学)</p> <p>田中賢司 (海技大学校航海科) Several Problems in Maritime English Education Encountered by Professional Seafarers through Basic Vocational Training during the COVID-19 Pandemic</p> <p>犬塚潤一郎 (実践女子大学) 視覚技術と使用一人間性の再生の契機としての</p> <p>三枝守隆 (立教大学文学部比較文学専攻科、トインビー・歴史の研究会) ウィリアム・マクニールの『疫病と世界史』—ポスト・コロナ時代の課題</p> <p>小林雅博 (神奈川工科大学、立教大学大学院) コロナの時代の「生」</p>
10:00～12:00	第5セミナー室	<p>個人研究発表 B (報告 25 分、質疑 5 分) 司会：佐々木一也 (立教大学名誉教授)</p> <p>鎌田出 (至誠館大学) 人の将に死なんとするや、その言や善し—文明葛藤の時代を生きた吉田松陰辞世の漢詩に関する一考察</p> <p>星野克美 (多摩大学名誉教授) 人新世時代の「思弁的非在論」—死生相克の「人類文明絶滅学」</p> <p>川口文夫 (中部電力顧問、早稲田大学評議員) 「いのち」をめぐる文明課題の解決に向けて</p> <p>秋丸知貴 (上智大学グリーンケア研究所) 心理的葛藤の知的解決と美的解決—死を巡るグリーンケアの比較考察</p>
12:15～13:45		役員会
14:00～14:10		<p>学会長挨拶：原田憲一 (比較文明学会) 民博館長挨拶：吉田憲司 (国立民族学博物館)</p>
14:10～17:30	第4セミナー室	<p>シンポジウム I 「生き物をめぐって現代文明を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 司会&趣旨説明：池谷和信 (国立民族学博物館) (20 分) ● 報告 (報告 25 分、質疑 5 分) <ol style="list-style-type: none"> ① 遠藤秀紀 (東京大学)：生き物の「いのち」 ② 高野哲司 (総合研究大学院大学)：東京における庭の植物と人 ③ 鈴木英明 (国立民族学博物館)：生き物とグローバルヒストリー ④ 野林厚志 (国立民族学博物館)：生き物とミュージアム <p><休憩> 10 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合討論 (50 分) <p style="text-align: right;">奥野卓司 (山階鳥類研究所、関西学院大学名誉教授)：コメント 15 分</p>

大会二日目		2020年11月22日(日)
10:00~12:00	第4セミナー室	<p>個人研究発表 C (報告 25 分、質疑 5 分) 司会：仲万美子 (同志社女子大学名誉教授)</p> <p>カク・ミンソク (京都大学大学院人間・環境学研究科) パラダイムとしての文化—トーマス・クーンの『科学革命の構造』から考える比較文化論</p> <p>鈴木達也 (鈴木達也行政書士事務所、中央大学政策文化総合研究所) 愛知県新城市が進めるニューカッスル・アライアンス構想</p> <p>伊藤陽寿 (至誠館大学) 羽地朝秀と唐・大和一主に首里城焼失・再建との関わりから</p> <p>銭正枝 (京都大学大学院人間・環境学研究科) 「茶の美」から見た東洋の文明—岡倉天心、鈴木大拙、柳宗悦を中心に</p>
10:00~12:00	第5セミナー室	<p>個人研究発表 D (報告 25 分、質疑 5 分) 司会：小倉紀蔵 (京都大学)</p> <p>林正博 (東京都市大学理工学部電気電子通信工学科) 騎馬民族征服説に対する比較文明論的再考察</p> <p>岩佐托朗 (大阪経済大学情報社会学部) スペインの日本研究が果たす日本文明・文化の普及と受容に関する考察</p> <p>服部匡成 (文明法則史学研究所、トインビー・歴史の研究会) ブラハ・村山・トインビーの文明サイクル理論の詳細比較 (短期的な周期)</p> <p>横山玲子 (東海大学観光学部観光学科) 文明とまなざしに関する一考察</p>
13:00~16:10	第5セミナー室	<p>シンポジウムⅡ 万博とユネスコの文明論的意義を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 司会&趣旨説明：中牧弘允 (国立民族学博物館名誉教授) 10 分 ● 報告 (報告 25 分、質疑 5 分) <ol style="list-style-type: none"> ① 佐野真由子 (京都大学)：国際博覧会の文明論的意義 ② 服部英二 (元ユネスコ文化担当特別事業部長、麗澤大学)：ユネスコの文明論的意義 ③ 杵名貴彦 (国立科学博物館)：空間のもつ文明論的意義：上野公園 ④ 五月女賢司 (吹田市立博物館)：空間のもつ文明論的意義：千里万博公園 <p><休憩> 10 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合討論 50 分 <ul style="list-style-type: none"> 赤坂信 (千葉大学名誉教授)：コメント 15 分
16:30~17:30	4セミナー室	<p>総会</p>

大会三日目		2020年11月23日(月)
10:00~17:40	第5セミナー室	<p>シンポジウムⅢ 社会・文明・思想から「いのち」を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●司会&趣旨説明：原田憲一（比較文明学会会長）10分 ●講演 10:10~12:00（講演45分、質疑10分） <ul style="list-style-type: none"> ① リン・ローズ Lynn Rhodes（国際比較文明学会会長、蘇州大学名誉教授、国際コンサルタント）：<i>Human Rights, Those Who are Governed and the Legitimacy of Law Enforcement</i> ② マイケル・アンドレグ Michael Andregg（聖トマス大学名誉教授、国際比較文明学会会員、平和運動活動家）：<i>Developing Global Crisis</i> ●報告 13:00~17:40（報告25分、質疑5分） <ul style="list-style-type: none"> ① ウスビ・サコ（京都精華大学学長）：マリ社会における「いのち」 ② 広瀬浩二郎（国立民族学博物館）：バリア・フリー社会における「いのち」 ③ カール・ベッカー（京都大学）：生命倫理における「いのち」 ④ 島園進（東京大学名誉教授、上智大学）：宗教倫理における「いのち」 <p><休憩> 10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 鎌田東二（京都大学名誉教授、上智大学）：生き物と信仰・宗教 ⑥ 鈴木七美（国立民族学博物館）：エイジング・フレンドリー・コミュニティにおける「いのち」 ⑦ 金泰昌（韓国東洋フォーラム）：加齢と生命開關 <p><休憩> 10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合討論 50分 <ul style="list-style-type: none"> 保坂俊司（中央大学）：コメント 15分

- * すべてオンラインで開催します。ただし、会場での聴講も可能です。いずれも事前予約制です。
- * オンライン接続、事前予約につきましては、後日詳細をお知らせいたします。
- * 会場での受付は第6セミナー室前で行います。
- * 懇親会は開催いたしません。
- * 展示場見学は各自でお願いします。ご入用の方には受付で招待券をお渡しします。
- * 昼食会場用に講堂地下と第3セミナー室を開放しています。自然文化園内のレストランもご利用いただけます。